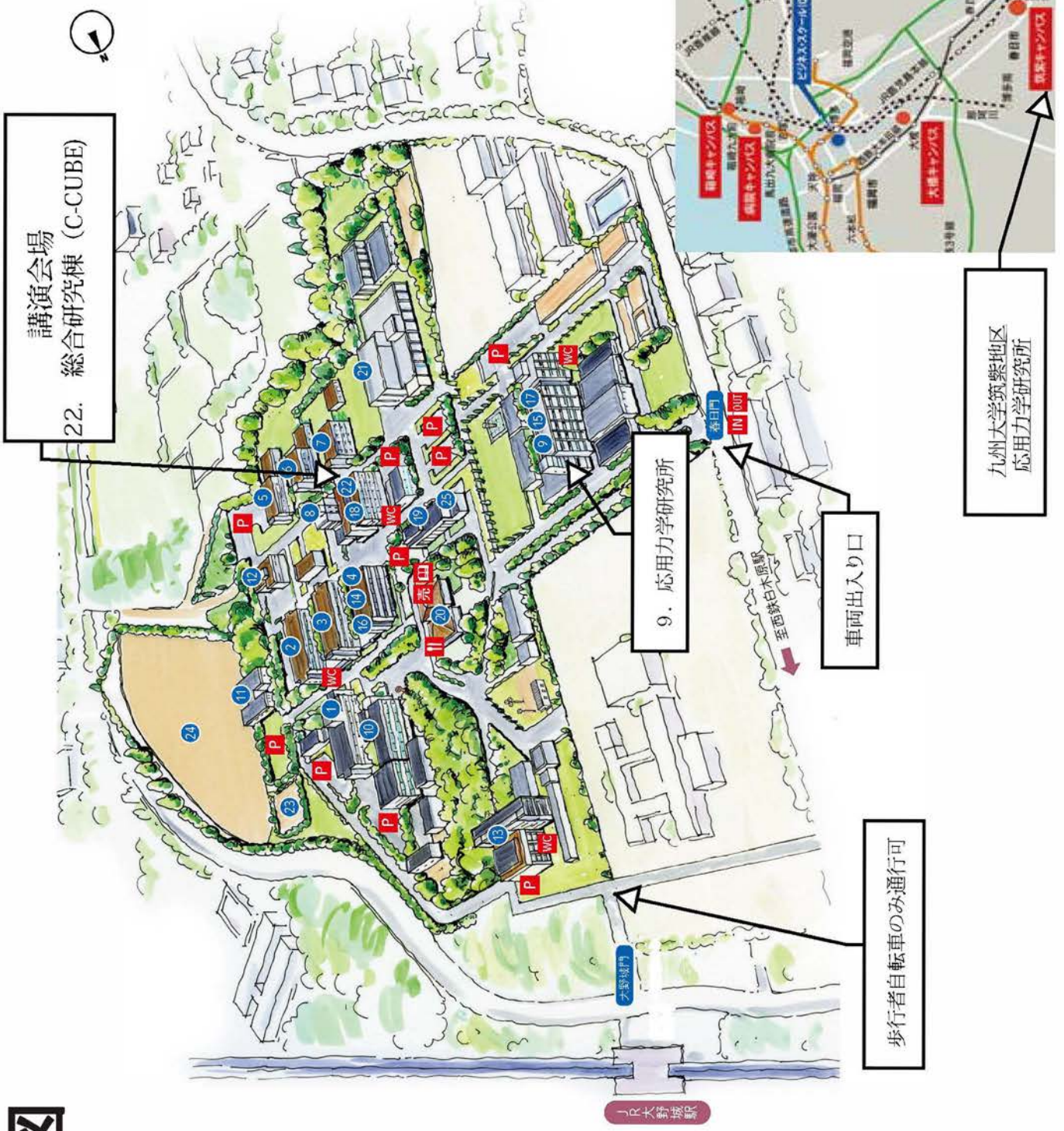


会場案内図

- ① 総合理工学府・総合理工学研究院 A棟
- ② 総合理工学府・総合理工学研究院 C棟
- ③ 総合理工学府・総合理工学研究院 D棟
- ④ 総合理工学府・総合理工学研究院 E棟
- ⑤ 総合理工学府・総合理工学研究院 F棟
- ⑥ 総合理工学府・総合理工学研究院 G棟
- ⑦ 総合理工学府・総合理工学研究院 H棟
- ⑧ 総合理工学府・総合理工学研究院 I棟
- ⑨ **応用力学研究所**
- ⑩ 先導物質化学研究所
- ⑪ キャンパスライフ・健康支援センター
(健康相談室・学生相談室)
- ⑫ 中央分析センター
- ⑬ グローバルイノベーションセンター
- ⑭ 炭素資源国際教育研究センター
- ⑮ 極限プラズマ研究連携センター
- ⑯ グリーンアジア国際リーダー教育センター
- ⑰ 大気環境総合研究センター
- ⑱ 筑紫図書館
- ⑲ 共通管理棟
- 外国人留学生・研究者サポートセンター
- グローバル学生交流センター
- 情報統括本部筑紫分室
- ⑳ 福利厚生施設(売店・食堂)
- ㉑ ワエスト実験棟
- ㉒ **総合研究棟 (C-CUBE)**
- ㉓ テニスコート
- ㉔ 運動場
- ㉕ 校収センター



九州大学応用力学研究所

RIAM フォーラム 2017

応用力学研究所は、平成29年度から東アジア海洋大気環境研究センターが大気海洋環境研究センター、高温プラズマ力学研究センターが高温プラズマ理工学研究センターに改組され、3部門（新エネルギー力学、地球環境力学、核融合力学）3センター（自然エネルギー統合利用、大気海洋環境研究、高温プラズマ理工学研究）となり、エネルギーと環境問題に応用力学的手法で取り組む研究体制を一層発展させていきます。また、平成22年度から認定されております「応用力学共同利用・共同研究拠点」としての拠点活動を継続いたしますので、今後とも共同研究者・研究者コミュニティの変わらぬご支援をお願い申し上げます。平成29年度からは新たな共同研究の枠組みとして若手キャリアアップ共同研究を設定し、共同研究を通じての若手研究者支援を開始いたしました。何卒ご理解とご協力の程、お願い申し上げます。

今回のRIAMフォーラムは、これまで通り初日に行う受賞講演や共同研究招待講演に加えて、2日目は新しく改組されました2センター（大気海洋環境研究、高温プラズマ理工学研究）のこれまでの研究成果と今後の活動について議論していただく場といたしました。共同研究者・研究者コミュニティの皆様からのご意見を多数伺いたいと考えておりますので何卒ご参加の程お願い申し上げます。

応用力学研究所長
花田 和明

記

1. 日時 2017年6月1日（木）13:00～2日（金）16:00
2. 会場 九州大学筑紫地区 総合研究棟（C-CUBE）1階 筑紫ホール
3. 問合せ先 九州大学応用力学研究所事務室
〒816-8580 福岡県春日市春日公園6丁目1番地
電話 (092) 583-7702
4. 交通案内
JR 博多駅 $\xrightarrow[15分]{\text{鹿児島本線}}$ 大野城駅 $\xrightarrow[5分]{\text{徒歩}}$ 会場
西鉄 福岡（天神駅）駅 $\xrightarrow[25分]{\text{西鉄大牟田線}}$ 白木原駅 $\xrightarrow[5分]{\text{徒歩}}$ 会場
空路 福岡空港駅 $\xrightarrow[5分]{\text{地下鉄空港線}}$ 博多駅（あとはJRと同じ）
福岡空港 $\xrightarrow[25分]{\text{タクシー}}$ 会場

RIAM フォーラム 2017 プログラム

日 時 2017年6月1日(木) 13:00 ~ 2日(金) 16:00
会 場 九州大学筑紫地区 総合研究棟 筑紫ホール

6月1日(木)

座長: 岡本 創

開会

13:00~13:15 所長挨拶および研究所の現状と将来計画 花田和明

海上保安庁長官表彰

13:15~13:40 対馬海峡表層海況監視海洋レーダシステム これまでの実績と今後
磯辺篤彦

科学研究費特別推進研究採択課題

13:40~14:05 統合観測システムで解き明かす乱流プラズマの構造形成原理と機能発現
機構 藤澤彰英

招待講演

14:05~14:30 レーザー光波面の乱れを利用したプラズマの乱流計測手法とデータ処理方
法の開発 核融合科学研究所 秋山毅志

14:30~14:55 プラズマに対向した堆積層の動的酸素リテンションに関する研究
京都大学 高木郁二

14:55~15:10 (休憩)

15:10~15:35 海洋環境モニタリングのためのグライダー型海中ロボットの研究開発
大阪府立大 有馬正和

15:35~16:00 東アジアの窒素負荷: 硝酸エアロゾルの越境輸送・沈着
電力中央研究所 板橋秀一

16:00~16:25 複数の円筒形 OWC 型波力発電装置を有するマルチカラム型波力発電装置
の性能評価に関する研究 九州大学工学部 安澤幸隆

16:25~16:50 Growth and characterization of bulk HVPE-GaN
~Pathway to highly conductive and semi-insulating GaN substrates~
Institute of High Pressure Physics, PAS, Poland Michal Bockowski

総合討論 16:50-17:30

6月2日(金)

I. 高温プラズマ理工学研究センター

座長： 徳永和俊

10:00~10:10	高温プラズマ理工学研究センターについて	出射 浩
10:10~10:40	QUEST における定常プラズマ実験	花田和明
10:40~10:55	定常プラズマ実験に向けた制御	長谷川 真
10:55~11:10	QUEST における電流駆動実験	恩地拓己

11:10-11:20 (休憩)

11:20~11:35	QUEST・PANTA における乱流実験	永島芳彦
11:35~11:50	ワシントン大学・PPPL との共同研究	黒田賢剛
11:50~12:05	高周波技術・リモートセンシングの共同研究	出射 浩

討論 12:05~12:15

II. 地球環境力学部門・大気海洋環境研究センター

座長： 市川 香

13:45~13:55	大気海洋環境研究センター(専任分野と連携分野)の紹介	竹村俊彦
-------------	----------------------------	------

【海洋力学分野の取り組み】

13:55~14:10	海洋プラスチック汚染に関する国内外の研究動向	磯辺篤彦
14:10~14:25	ラグランジアン的に海洋をみる	木田新一郎
14:25~14:40	ベトナム・メコン川塩水遡上と地域環境	上原克人

14:40~15:50 (休憩)

【海洋モデリング分野の取り組み】

14:50~15:05	海峡力学過程の統合と解剖	広瀬直毅
15:05~15:20	海洋物理現象に対する統計力学的アプローチ	大貫陽平

【気候変動科学分野の取り組み】

15:20~15:35	気候モデルを用いたエアロゾルの影響の定量化と予測システムの運用	竹村俊彦
15:35~15:50	成層圏循環場と積雲対流の長期変動 -成層圏・対流圏間の力学的結合過程の観点から-	江口菜穂

討論 15:50~16:00